

ICN の手島恵氏、長崎で開催された第 24 回核戦争防止国際医師会議世界大会に看護師の声を届ける

ICN 第 2 副会長が核廃絶を訴え、平和構築における看護師のリーダーシップを強調

日本、長崎 2025 年 11 月 5 日

国際看護師協会（ICN）は、日本看護協会（JNA）との緊密な連携のもと、「～核なき世界～長崎を 最後の被爆地に」をテーマに開催された第 24 回核戦争防止国際医師会議（IPPNW）世界大会に、世界の看護職の力強い声を届けた。

世界 3,000 万人の看護師の声を代表し、ICN 第 2 副会長 手島恵氏は感動的な演説を行い、核兵器の全面禁止と廃絶を強く訴え、健康と平和の重要な関係を改めて強調。

「健康と平和は切り離せない。」と述べた。「世界で最も信頼される職業である看護師として、核兵器を含むあらゆる生命への脅威に声を上げる義務と道義的責任を負っています。」

世界大会が開催された長崎で、手島氏は 1945 年の原爆投下を生き延び、被爆者のケアに当たった看護師たちを追想し、栄誉を称えた。その中には、後にフローレンス・ナイチンゲール記章を受章した久松シソノ氏も含まれる。「彼女たちの勇気は、長崎が核兵器で爆撃された最後の都市であり続けなければならない理由を私たちに気づかせてくれます。核兵器を廃絶すべきという要請に勝る政治的、軍事的、経済的正当性は存在しません。」と述べた。

日本看護協会秋山智弥会長は以下のとおりコメントした。

「原爆投下から 80 年となる今年、平和を希求する看護職の一人として、ICN 第 2 副会長手島恵氏が ICN と世界の看護職を代表し第 24 回 IPPNW 世界大会において講演したことは大変意義深い。

80 年前の 1945 年、原爆が投下された広島、長崎では、まちは廃墟と化し、多くの方が亡くなり、被害にあった。原爆の強烈な熱線による高熱は火災と人体への火傷をもたらし、強い爆風に建物は倒壊し、人々はふきとばされ、ガラスや木片を浴び、さらに放射線による影響により、大きな被害をもたらした。また、年月が経過した後も、放射線による障害は、被爆者に長年にわたり影響をもたらしている。80 年が経過し、次世代のために、ようやく被爆体験を語り始めた人もいる。トラウマ、心的外傷後ストレス障害なども身体と同様甚大な影響を及ぼしている。

看護師は、自身が直接に被爆をしながらも、被爆者の救護活動を行った。また、他の地域から医療活動のために、現地に入り救護活動をおこなった。これらの看護師や勤務先の病院に被爆者が搬送され看護を行った看護師も間接的に被爆した。直接被爆・間接被爆の違いに関わらず、放射線による影響は身体に及び、救護活動に携わり続けることが難しい者もいた。日本看護協会は、最前線で救護活動に携わり、看護を行ったすべての看護師に敬意を表する。

日本看護協会は、人々のいのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護職として、ICN による#NursesforPeace キャンペーンに連帯を示すと共に、核兵器により人々が被害にあうことが二度とないよう、人々の未来が奪われることがないよう、平和な世界を強く願う。

ウクライナやその他の紛争地域の看護師との連帯から始まった ICN の#NursesforPeace キャンペーンは、人道支援と平和の促進、保健医療従事者の安全、危機・紛争下における倫理的リーダーシップを推進する世界的な運動となった。ICN は#NursesforPeace キャンペーン、人道基金、Direct Relief との連携を通じ、保健医療従事者と民間人の保護を推進し続けている。

先ごろのヘルシンキ大会では、ICN の決議機関において、保健医療サービスへの攻撃激化を非難し、国際人道法の遵守を求め、違反行為に対する説明責任を求める緊急動議が採択された。

ICN のホセ・ルイス・コボス・セラーノ会長はグテーレス国連事務総長に書簡を送り、紛争地域における保健医療への攻撃を即時停止し、食料・医療・人道支援への安全なアクセスを保証するよう要請した。

国連のアントニオ・グテーレス事務総長の言葉を引用し、手島氏は参加者にこう訴えた：「人類は、一つの誤解、一つの判断ミスで核による壊滅の瀬戸際に立っています。」

ICN 第 2 副会長はまた、看護教育とリーダーシップへの投資拡大を訴え、政府に対し災害対策や平和政策の策定に看護師を参画させるよう要請し、「危機発生後の対応だけでなく、危機を予防する政策を形成するために、計画策定の場に看護師が必要です。」と述べた。

手島氏は愛子親王殿下の言葉を引用し、希望のメッセージで講演を締めくくった。

『「平和」は人任せにするのではなく、一人ひとりの思いや責任ある行動で築きあげていくものだから。』核兵器は人類に対する存亡の危機です。核兵器は誰の手にも属してはならない。世界中の看護師を代表し、私たち全員が責任ある行動を取るよう要請します。核兵器のない世界を、ついに実現するために。」

2025 年 11 月 公益社団法人日本看護協会訳

ICN - International Council of Nurses. (2025). *ICN's Megumi Yamaura-Teshima brings the voice of nursing to World Prevention of Nuclear War Congress in Nagasaki*. [online] Available at: <https://www.icn.ch/news/icns-megumi-yamaura-teshima-brings-voice-nursing-world-prevention-nuclear-war-congress> [Accessed 10 Nov. 2025].